企業訪問 報告書

亀沢 佑一 (琉大GFB)

訪問日

2019年2月18日 (月)

訪問先

株式会社ミクシィ

時間：12:15〜13:45

内容：エンジニアの方とランチミーティング

エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社

時間：15:00〜16:30

内容：セキュリティ，ネットワークのオペレーションの分野について

訪問目的

業界で活躍しているエンジニアとの座談を通して，実際の現場での実践的な開発手法について学ぶとともに，産業界で活躍できるエンジニアになるための経験を得ることを目的とする。

株式会社ミクシィ様

私たちのチームは本プログラムを通して，アプリケーション開発に携わりました。今回の訪問では，業界で活躍しているエンジニアの方は，アプリケーションにおける企画のアイデア出しからフロントエンドのデザイン出しに関して，どのような手順で開発されているのかを質問させて頂きました。

企画のアイデア出しに関しては，エンジニアの部署等関係なく誰もが提案できることや内定者アルバイトでも提案できるとのことでした。

フロントエンドのデザイン出しに関しては，チーム全体でブランドカラーに合わせてからデザインを考え，〆切の中で方針を達成できるかを決めるとのことでした。チーム内でのいざこざの際には，チームで誰もが納得できる決定権を持つ人を予め決めておき，最終決定を行うとのことでした。

最後に，チーム開発に関しては，リモートよりもフェイス・トゥ・フェイスを大切に持ち，毎日の朝会や夕会で作業報告だけではなく，何をやっているのかその都度確認する取り組みが行われているとのことでした。また，流行のOSSやライブラリを導入することは，エンジニア同士での情報交換や意見交換に役立つとのご助言を頂けました。

エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社様

今回の訪問では，インシデントレスポンスサービスについての数多い知見が得られました。

対応方法は，被害発覚→ヒアリング→ディスクやログの確保→分析→報告を繰り返す流れとのことでした。ヒアリングに関しては，お客様のそばに寄り添い，数々の質問を聞くことから始まります。また，分析に関しては，ネットワークログやディスク，マルウェアの解析がありました。さらに，報告に関しては，侵入経路や漏洩情報，被害範囲を伝えることが重要とのことでした。しかし，全てが明らかになるケースは稀であり，推測で伝えることも重要で，専門用語はなるべく使わない心得も仕事上で必要だと学びました。

最後に，エンジニアとして学び続ける姿勢が求められるインシデントレスポンスサービスについて，Twitterのセキュリティネタまとめやセキュリティ系企業のサイトを見ることが重要だとご助言を頂けました。近年では，システムの脆弱性よりも人的な脆弱性に突いたインシデントが多く，実際の現場で働いているエンジニアだからこそ気付ける知見を興味深く拝聴できました。

&AND ＨＯＳＴＥＬ ＡＳＡＫＵＳＡ ＳＴＡＴＩＯＮ様

宿泊先の&AND ＨＯＳＴＥＬ様では，IoTのある暮らしを気軽に体験することができました。スマートフォン1台で，ルームキーから家電機器まで操作でき，リモコンを変える手間が省け，とても有意義な生活だと感じました。

謝辞

今回，貴重な企業訪問の場を設けて頂いた一般社団法人沖縄オープンラボラトリ様及びスポンサーの方々，株式会社ミクシィ様，エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社様に心より感謝申し上げます。この度，企業訪問させて頂きました貴重な経験を活かし，産業界で活躍できるエンジニアを目指して励んでいきたいと思います。ご多忙の中，貴重な企業訪問の場を設けて頂き，本当にありがとうございました。